令和７年度　柏市（令和７年９月作成）

小児インフルエンザ予防接種について

１　対象者

接種日時点で、柏市に住民登録がある生後６か月から小学６年生までのかた

※　柏市民以外は対象となりません。
※　**小学６年生（平成２５年４月２日～平成２６年４月１日生まれ）までが対象です。**
中学１年生以上（平成２５年４月１日以前に生まれ）は対象外です。

２　接種期間

令和７年１０月１日（水）～令和８年１月３１日（土）

接種の際には
母子健康手帳が必要です

３　助成金額

１回あたり１，５００円

※　接種費用から１，５００円を差し引いた金額を窓口でお支払いください。
※　不活化インフルエンザＨＡワクチン（注射）の場合は２回、経鼻弱毒生インフルエンザワクチン（経鼻）の場合は１回、どちらか一方のワクチンで公費助成が受けられます。

４　ワクチンの種類と接種回数

不活化インフルエンザ ＨＡワクチン	２～４週間の間隔をおいて**２回注射**する
経鼻弱毒生インフルエンザ ワクチン　※２歳以上	鼻腔内に**１回噴霧**する （各鼻腔内に 0.1mL を１噴霧ずつ）

５　保護者の同伴について

原則、保護者の同伴が必要です。

※　保護者が特段の理由で同伴することができない場合、お子さまの健康状態を普段から熟知する親族等が同伴することは差し支えありません。この場合、保護者が予防接種について十分に理解し同意する旨の委任状の提出が必要となります。

６　次の人はかかりつけの医師とよくご相談ください

- 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する人
- 予防接種で接種後２日以内に発熱がみられた人、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 過去に免疫不全の診断がされている人、近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患を有する人
- 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある人

【問い合わせ先】柏市　健康増進課　予防接種担当
TEL　０４－７１２８－８１６６　FAX　０４－７１６４－１２６３

裏面もご確認ください

柏市小児インフルエンザ予防接種を受ける前に必ずお読みください

令和７年度　柏市（令和７年９月作成）

小児インフルエンザ予防接種の説明書

【予防接種を受ける前に】

柏市小児インフルエンザ予防接種は、市が独自に費用助成を行うものです。予防接種法に基づかない任意の予防接種となります。

予診票を記入し、わからないことや気がかりなことがあれば、医師や看護師等とよく相談してください。十分に納得できない場合には、予防接種を受けないでください。

【インフルエンザとは？】

季節性インフルエンザは急性呼吸器感染症で、発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛などの全身症状が突然あらわれます。潜伏期は２４～７２時間です。呼吸器症状は遅れて出現することが多く、鼻閉、咽頭痛、せきなどです。合併症がなければ２～７日で治癒します。合併症、特に肺炎や脳症を併発した場合は重篤となります。（「予防接種と子どもの健康」より）

【小児インフルエンザ予防接種の効果】

乳幼児のインフルエンザワクチンの有効性に関しては、報告によって多少幅がありますが、概ね２０～６０％の発病予防効果があったと報告されています。また、乳幼児の重症化予防に関する有効性を示唆する報告も散見されます。（厚生労働省ホームページ「インフルエンザワクチン（季節性）Q&A」より）

【予防接種を受けることができない人】

- 明らかな発熱を呈している人（体温が３７．５℃以上の人）
- 重篤な急性疾患にかかっている人
- インフルエンザワクチンに含まれる成分によって、ひどいアレルギー反応やショック状態を起こしたことが明らかな人
- 過去にインフルエンザの予防接種で、２日以内に発熱、発疹、じんましん等のアレルギー反応と想定される異常が見られた人
- その他、医師が予防接種を行うことが不適当な状態と判断した場合

【副反応について】

予防接種を受けた後、接種した部位が腫れたり、痛むことがあります。また、発熱、悪寒、頭痛、全身のだるさなどが見られることもありますが、通常２～３日のうちに治ります。

予防接種を受けた後、接種部位のひどい腫れや熱、全身のじんましん、呼吸困難、繰り返す嘔吐、低血圧、高熱などの副反応と思われる症状が現れたら、接種した医師に相談し、診察を受けてください。

【予防接種による健康被害救済制度】

任意の予防接種によって引き起こされた副反応により医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済の対象となる場合があります。

【予防接種を受けた後の注意】

- 予防接種を受けた後３０分間は、急な副反応が起こることがありますので、医師（医療機関）とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動は控えましょう。
- 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。